

日本聾話學校

保母主任 畑 足 子

「啞の幼稚園」と俗に呼ばれて居ります私共の學校は、牛込矢來町の福音教會の建物を拜借して、大正九年五月に開校されたのでございました。「日本聾話學校」と云ふ名のやうに、啞の子供に話す事が出来るやうに教育しようとする目的でございます。日本では啞と一概に申しますと、耳が聞えぬために、話が出来ないもの、即ちつんぽも、耳が聞えても話が出来ないものも、啞と同一に取扱つて、聾啞たふしと云つ居りますが、私共の方は、耳が聞えない爲に發音が出来ない子供即ち聾に全く最新式な發音教育をさづけるのでありまして、耳が聞えても口をきく事の出來ない啞の方は未だ手を出して居りません。私共の學校では、目下日本に於て最も進歩した教育法を用ひてゐる事と思ひます。なせならば、これはアメリカに於ても極く最近に始められた發音教育を採用致して居るからでございます。

只今毎日通學して參る子供達は、男女合せて四十

人で、年齢は六歳から十二歳位まででございます。規則としましては、三歳から十歳位までの兒童に幼稚園教育を授けることにして置きましたのですが、三四歳から不具者をよそへ出してやるさいふのはいかに可愛いさうだとか、或ひはかたわな子供をはずてなるべくかくして置かうさいふ親心から、つひ年齢が遅れて六七歳になつてやつと此處へ通學させてよこすと云ふ風です。私共から考へれば、年齢が少なければ少いほど、教育の効果が速かにあがるので、ぐづ／＼して家庭で心配するよりも、思ひきつて通學させて頂いた方が、どれだけ嬉しいかわからないのでございます。

兒童教育にあづかつて居られる先生方は、校長神學博士ライシャワー氏及び夫人、ミス・クレマー、神學博士モーリー氏外に私共日本人の保母が五人居ります。このライシャワー博士夫妻が、實にこの聾話學校を設立する上に多大の努力をして下さいまし

たのです。博士夫妻には、御氣の毒にも聾のお嬢さんがお生れになりましたので、御心配も一通りでない、今から三年前お嬢さんが三つのお年に、米國へわざ／＼御歸國なさいまして、其當時發音教育を施してゐる聾の幼稚園にお嬢さんを入學させました。そして夫人自らも發音教育の方法を親しく研究なすつて、學校と家庭と兩方で一生懸命なさいましたので、幼稚園で三年間教育をうけて再び日本へ歸られましたから、お嬢さんは今年七つでいらつしやりますが、大層發音もお上手で普通の人と變つた事がなく、只今は他の外國人のお子様の通學して居られる學校に御勉強中です。この尊い御經驗から、日本にゐる可愛いさうな聾の子供達にも、御自分のお嬢さんが受けられたやうな發音教育を受けさせたいと云ふ御同情から、色々盡力されました。又どもりを矯正する樂石社の主事村上求馬氏もこの事業に加はつて、始められたのが、この日本聾話學校でございませす。クリスマス折等、赤いサンタクロースのお爺さんの靴下やお菓子がぶらさがつたクリスマス・トリーを飾つた下で、ライシャワー博士のお腕に嬉しさに抱かれてゐる美しいお嬢さんを見ますと、

私共は心からの感謝にあふれます。

發音教育と申しますのは、今迄のやうに聾の教育に使用されて居ました手眞似で話する事を教へたり、或はA、B、Cを手の指で表して話したりする事は、斷然とさげまして、最初から聲を出して發音させる事を練習するのです。アの音は口を開くとか、オの音は口をつぼめるとか、先生と子供とは鏡の前に坐つて口の格好を示して練習させるのです、又咽喉、頬、鼻等が、或音を出す時に、振動するものであります。それ故手で一々咽喉を觸らせてみて、これは何の音であるか等と云ふ事を教へます。發音學の科學的基礎に従つて、嚴密に練習させて、個人教授を致します。普通なら幼稚園へ行つて砂いぢりや鬼ごつこ等して遊び暮してゐる年頃の子が、朝から午後二時頃まで毎日五時間といふ時間を發音の練習に費すのでありますから、子供自身に對しても全く可愛いさうな氣が致します。しかし、飽きをふせぐ爲に、面白い手藝をさせたり、遊戯をさせたりすることは勿論であります。お暇がおありでしたらどうか一度參觀にお出で下されば、發音教育の實際も御解りにならうと思ひます。

五十音が發音出来るやうになれば、それを組立てて言葉を表す事が容易になります。「御飯が食べた」と云ふ事を云ひたいと子供が思へば、ゴの發音はどうして表すか、ハの發音はどうか、シの發音がどうかと考へて見れば、おぼろげながら言ひ表す事が出来ます。其を度々練習すれば、其中には速かに自然らしく發音が出来るのです。それを、初めはたやすく言ひ表はせないのです、お盆と云ふ代りに手で圓い形をして見せたり、又家庭で母親の袖をひつぱつて連れて來ては自分の望む事をわからせたりするくせがあるので、私共の袖をひつぱつたりしますが、そんな事をした時は、可愛いさうだと思ひますが、爲になりますから、言葉で表す迄知らん顔をして居りますと、遂ひには言ひ表します。

又耳がきこえませんので、目の働きが敏くなるのは驚くほどです。聾が他人が何を云つてゐるかは、口の格好でちやんと言葉を讀むのでございます。この練習は、發音の練習と共に自然に了解されて參ります。「窓を開いて下さい」等と私が申しますと、私の口を一心に見てゐて、直ぐ解つて、さつさと窓ぎわに行つて窓を開いて來ます。先日も蟬々と騒ぎたて

るので何處にゐるのだらうと見ますと、青桐の幹に蟬がどまつて居りましたのでございますが、私共の目には木のふしとしか見えませんのを、子供達には直ぐ蟬だといふ事がわかります、これも目がさどくなつた一例でございませう。

私共の學校に通つて來ますのは、色々の家庭から集つてゐるのです。昨年開校當時でございしましたが、軍人のお父さんがお二人の姉妹を毎朝のやうに送つていらつしやりました。此處のお宅では、この二人しかお子さんがおありにならないのに、しかもかう云ふ御様子なので、お母さんは氣にやんで強いヒステリーにかゝられてしまつたのです。ほんとにお氣の毒に堪えません。それで毎朝お父さんが二人のお嬢さんを送つて來られるので、「今日も役所を休んで來ました、どうぞよろしく願ひます」等と元氣におつしやるのを聞くと、お心の中までも考へられてお氣の毒でなりません。又これは横濱に住んでゐるお子さんですが、この學校のあるといふ事を聞きつけてはるばる横濱から通つて來るのです。先達お母さんがわざ／＼學校へ來られての話に、一年教育受けなおかげで、「お母さん、雨が降つて來ました」と學

校から歸りに家にかけて込んで來ながら、すら／＼と言へたので、非常にうれしくて御禮に來たといふのでございます。かうした親の心づくしを見ますと、私共もどうかしてこの事業を盛にしたいと思つて居ります。

生れながらにして聾である子供、又腦膜炎や中耳炎で聾になつた子供等いろ／＼ありますが、必ずしも後天的の方が先天的よりも教育的効果がよいと云ふ事ありません。個人／＼のたちによるのでありまして、大變よく發音を覺えるのもあれば、いくら私共が力を入れましても遅れるのもあります。しかし五歳位まで普通の状態で育つたお子さんが、急に聾になり、その中に言葉も自然に忘れてしまつたと云ふお子さんは、一度人の聲を聞き、又自分でも發音した經驗があるので、遠くへ忘れられてゐたものが教育に依つて呼びもどされるのですから、かう云ふ場合は教育がし易うございます。又同じ後天的聾の場合でも、ひどい腦膜炎にでもかゝつたといふ時は、その爲腦そのものに故障を生じて居りますから、低能兒と同じに、教育がむづかしくなります。全く個人の問題になります。

聾も教育しないで置きますれば、低能兒と同じ事になり、犯罪性に傾き易くなります。又聾と云つても、中々頭腦の明瞭なものもありますから、かう云ふのは教育したならば幾分でも人と生れての責任や喜びを味はせる事が出來ます。又聾啞の人がその儘で發聲をしないと、呼吸器が使用されないため弱つてしまつて、健康を害します。これが聾啞の人に死亡率が多い原因となるのであります。私共の學校は開校以來未だ一年半も立ちませんが、四十名の生徒の中から三人も亡くなつた者を出して居ります。それですから、一は社會の一員として活動させる爲に、一は健康を保せる爲に、聾啞の教育はます／＼盛にしなければなりません。聾啞の兒童の生れる原因は、多くは近親結婚や、聾啞同士の結婚によるものが多いうで、聾啞同士は聾啞教育の盛になるにつれて互に接することが多くなり、同情し合ふ事が多くなつて、遂に結婚してしまふのがあります。何とかして聾啞同士の結婚をさけるやうにし、他の人々も同情を以て交際し合ふやうにしたいものです。私共の學校は、修業年限が三ケ年で、更に小學部中學部と設けたい考へで居りますので、早く職業につかされた

い等と考へる親達には、發音教育は長過ぎ、またるこいやうに思はれるかも知れませんが、この教育を續けて行きますと充分に話しまた聞きわけける事が出来るのですから、子供達にとつてはその幸福は大したものだらうと思ひます。

聾に限りませんが、不具な子供は十四五歳になつて色々の事が解り始める頃になると、自分の不幸を今更のやうに嘆き悲しみ、精神上にも暗い影がさし、容貌にも何となくあわれな様が見えるものですが、この學校に通ふ聾の子達は年も少いので、いかにも無邪氣に晴れやかに見えます。私共も一生懸命になつて、大人になる迄は、教育の効果を全うし、暗い影をとりさつて、幸福な生涯を造らせたものと常に希望して居ります。

會 告

本會では從來、會費の拂込を前金の方法でなく、御入會とともに、先づ雑誌をお送り申上つて、半年毎に後から納めて頂いて居りました。しかるに會の發展にともなひ、會務の整理上いろ／＼不便を感じますので、この際、全部前金納めの方法に改めたいと存じます。就きましては、甚だ恐入りますが、來る十二月に例の通り、市内は集金郵便により、地方はハガキを以て拂込をお願い申上ます節、特に今回は一ケ年分納めて頂きたいのでございます。さすれば、明年一月より六月迄、半年の前金を願ふことが出来ます譯です。尙、既に前金御拂込の方も多數ございますが、何卒、皆様におかせられては、この旨御諒察下され、此後益々本會のために御援助下さるよう御願ひ申上ます。

大正十年十月

日本幼稚園協會會計係